

令和7年度
学校関係者評価報告書

令和8年2月

学校法人 大志学園
専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ

専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ 学校関係者評価報告書について

専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ学校関係者評価は、ファッション・テキスタイル業界に精通した方々を委員として選任し、現状における課題について助言を得る貴重な機会としても位置づけ、必要な改善、学校運営や教育実践力等の向上に役立てることとする。根底に本校が従来から伝統的に取り組んできたものについてその価値を見極めて頂き、今後も継続できるよう客観的に評価して頂いた。

実施日時 令和 8 年 2 月 22 日

○評価委員

怡田 勉 IDA テキスタイルデザインスタジオ
中谷 重明 株式会社アパレルコンシェル

○学校関係者

校長 川出 深雪
教頭 山下 功
国際教養学科長 関谷 俊郁
デザイン総合学科長 春日 泰浩

4. 学校自己評価報告書について

(a) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(b) 評価項目：

次の 10 項目について実施

- 項目 1 教育理念・目的・人材像
- 項目 2 学校運営
- 項目 3 教育活動
- 項目 4 学修成果
- 項目 5 学生支援
- 項目 6 教育環境
- 項目 7 学生の募集と受け入れ
- 項目 8 財務
- 項目 9 法令等の遵守
- 項目 10 社会貢献・地域貢献

(c) 評価項目に対する評価 4 段階評価で点数評価した。

[4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切]

5. 学校関係者評価報告書の作成について

上記の学校自己評価報告書を基に各項目について評価を頂き、討議を深めた。コメントは以下の様にまとめた。

(1) 教育理念・目標

本校の教育理念は【日本を知る・世界を知る・共生を目指す】である。本校は、教育を通じて日本の伝統文化を引き継ぎ、更に発展・進化させたものを世界に発信し、日本と世界を繋ぐ役割を果たしていくとともに、グローバルな社会で活躍できるような、確かな教養と知識と技術を習得した、多文化共生の未来へと羽ばたく人材を育てていく。

評価項目	評価 (4~1)
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・ 学校における職業教育の特色は何か	4
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

【評価委員コメント】

総合的な専門学校として教育している。

(2) 学校運営

本校は学則に基づき運営されている。

組織・管理運営は、校長、教頭及び学科長が統括し、定例の教職員会議を実施。教員と事務職員との情報共有を行うとともに、年間カリキュラムの協議、改善に努めている。

学校運営の充実を図るため、「目標・方針の理解とコンセンサス」を目指して、教職協働を進めていく。

評価項目	評価 (4~1)
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【評価委員コメント】

しっかりと学校運営ができています。

(3) 教育活動

本校では変化する国際社会や産業界のニーズに対応できる人材の育成を目指し、専門的な知識・技能と幅広い教養、実践的なコミュニケーション能力を身に着ける教育を展開している。今後も、学生の多様な背景や進路希望に対応しながら、教育内容・指導方法の継続的な改善を図り、専門学校として社会的要請に応える実践的な教育活動を推進していく。

評価項目	評価(4~1)
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

【評価委員コメント】

職員に対する研修は行われているが、教員への研修の拡充が望まれる。
産学連携によるインターンシップの拡充が望まれる。

(4) 学修成果

本校では、学生一人ひとりの目標達成に向けた進路指導や学習支援を行い、進学・就職など希望する進路の実現に努めている。また、資格取得や専門知識・技能の習得に加え、主体的に学ぶ姿勢や国際社会で活躍するための能力の育成を図っている。今後も、学修成果の把握・分析を行い、より効果的な教育活動につなげていく。

評価項目	評価 (4~1)
・ 就職率の向上が図られているか	3
・ 資格取得率の向上が図られているか	4
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

【評価委員コメント】

就職実績に関する強化をもっと積極的に行っても良いのではないかと。

(5) 学生支援

本校では、学生が安心して学び、充実した学校生活を送ることができるよう、学習面・生活面・進路面においてきめ細かな支援を行っている。担任を中心とした個別相談や保護者との連携、留学生への生活・在留支援など、一人ひとりの状況に応じたサポート体制を整備している。今後も、学生の多様なニーズに対応し、安心して学べる教育環境の充実に努めていく。

評価項目	評価(4~1)
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・ 卒業生への支援体制はあるか	4
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

【評価委員コメント】

学生と教員の関係が良好であり、近い関係で支援できていることが良い。

(6) 教育環境

本校では、学生が安全かつ快適に学習できるよう、教育設備や学習環境の整備・改善に努めている。また、授業で使用する設備・機器の充実に加え、自習室など学生が主体的に学習に取り組むための環境を整備している。さらに、防災・防犯対策や衛生管理を含め、安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進している。今後も、教育内容や社会の変化に対応した教育環境の向上に継続して取り組んでいく。

評価項目	評価 (4~1)
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・ 防災に対する体制は整備されているか	4

【評価委員コメント】

学外活動が充実することで学生たちの教育がより充実するのではないかと。

(7) 学生の受け入れ募集

本校では、教育理念や各学科の特色、教育内容について積極的な情報発信を行い、入学に対して適切かつ分かりやすい募集活動に努めている。また、オープンキャンパスや学校説明会、広報媒体等を通じて、本校の魅力を発信するとともに、入学希望者一人ひとりの進路希望や適性に応じた丁寧な相談・対応を行っている。今後も、社会のニーズや学生の多様化を踏まえ、効果的な募集活動の充実を図っていく。

評価項目	評価 (4~1)
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4

【評価委員コメント】

しっかりと受け入れを行っている。

(8) 財務

入学者定員を 155 名に対し 148 名が入学。入学定員充足率は 95.5%であり、財務基盤は安定している。

評価項目	評価 (4~1)
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

【評価委員コメント】

特になし

(9) 法令等の遵守

法令等の遵守関連省庁への届出をはじめ、適正な運営に努めている。

評価項目	評価 (4~1)
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
※・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
※・ 自己評価結果を公開しているか	4

【評価委員コメント】

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価 (4~1)
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

【評価委員コメント】

(11) 国際交流（必要に応じて）

本校では、多様な国籍・文化的背景を持つ学生が共に学ぶ環境を活かし、日常的な交流を通じた異文化理解と国際的な視野の育成に努めている。また、学科や学年を越えた交流イベントや校外活動などを通じて、学生同士が互いの文化や価値観を尊重し、協働する力を養っている。今後も、国際社会で活躍できる人材の育成を目指し、国際交流の機会のさらなる充実を図っていく。

評価項目	評価 (4~1)
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続きがとられているか	4
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

【評価委員コメント】

国際交流をしっかりと行っている。

学校関係者評価委員の評価結果について

上記報告内容は、学校関係者評価委員
として、妥当な評価であることを確認
し、認めます。

令和 8年 3月 1日
専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ

怡田勉 IDA テキスタイルデザインスタジオ
中谷重明 株式会社アパレルコンシェル